

基本のがん・女性のがん検査セットの注意事項

こちらの検査セットは、異なる数種類の検査を効率よく行い、それを1度に提出するというものです。そのため、下記の様なスケジュールに基づいて検体採取をしていただく必要があります。

必要な検査キット（全部で7種類）

1. ポストチューブ ⇒ 朝起きた時の痰を**3日間**にわたり毎朝集めます。
(『[肺がん検査における注意事項](#)』・『[正しい痰のとり方](#)』という説明書をお読みください。)
2. 便中H、ピロリ抗原専用容器 ⇒ 便を専用のブラシで擦りとって容器に入れます。
(青い袋の中に『[H・ピロリ検査の便のとり方](#)』が入っています。『[胃がん検査における注意事項](#)』と合わせてお読みください。)
3. ろ紙採血 ⇒ ランセットを用いて指先から採血し、ろ紙に染みこませます。
(『[輸送採血ろ紙セット取扱説明書](#)』・『[ろ紙セットにおける検体採取について](#)』という説明書をお読みください。)
4. 便潜血用採便容器 ⇒ 便を専用の容器に入れます。**2日分の便**が必要です。
(緑色の袋の中に『[正しい大便の採り方](#)』が入っています。『[検体採取について](#)』と合わせてお読みください。)
5. 尿細胞診用採尿容器 ⇒ **朝一番の尿**を採っていただきます。
(『[正しい尿の採取の仕方](#)』(尿細胞診)という説明書をお読みください。)
6. ホームスミアセット ⇒ 腔内より分泌物と共に細胞を採取して、採った細胞を試験管内に洗い出していただきます。
(『[ホームスミアセットの使い方](#)』・『[ホームスミアセットにおける検体採取について](#)』という説明書をお読みください。)
7. HPV プラスティック容器 ⇒ 膣奥部の子宮頸管に近いところの分泌物から中～高リスク HPV をハイブリッドキャプチャー法にて検出します。
(『[女性器ヒトパピロマウイルス検査における検体採取について](#)』という説明書をお読みください。)

検査は最低でも3日間を要します。

※以下のスケジュールを参考にしてください。

- 1日目**：朝起床時に痰を採っていただきます。(ポストチューブに蓄痰する — **日付を記入**)
.....
- 2日目**：① 朝起床時に痰を採っていただきます。(ポストチューブに蓄痰する — **日付を記入**)
② 当日最初の便を便潜血用採便容器の1つに採ってください。(日付を記入)
.....
- 3日目**：① 朝起床時に痰を採っていただきます。(ポストチューブに蓄痰する — **日付を記入**)
② 当日最初の便を便中H、ピロリ抗原専用容器ともう1つの便潜血用採便容器に採ってください。
(日付を記入)
③ 朝の第一尿を採っていただき、尿細胞診用採尿容器に取り分けます。
④ 朝起床時、**食事を摂る前**に採血します。ランセットという器具で指先を刺し出血させ、出てきた血液をろ紙に染みこませます。
⑤ ホームスミアセットと HPV 検査キットを使用し、検体を採取します。

以上ですべての検体がそろいました。
速やかに返送伝票と共に返信用封筒に検体を入れ、郵便ポストに投函してください。
(夏場など気温の高いときは、直接郵便局にお持ちいただくことをお勧めいたします。)
また、休業日には検体の受取りができませんので、ご返送の際にはお気をつけください。

【検査結果について】

検査結果は kensa.biz ホームページで確認できます。検査キットの購入・結果の閲覧には、会員登録が必要となります。HP上のショッピングガイド、または、ログインページをご参照下さい。会員様ログインより会員認証を行い、ご自分の検査結果をマイページにてご確認ください。

Kensa.biz

医療法人社団理仁会 予防医学研究所
土曜午後・日曜・祝日 休業

※夏期・年末年始に臨時的休業日がありますので、<http://36350010.com/schedule> より営業日をご確認の上、ご返送ください。